

平成13年度 文学部 授業計画表[syllabus]

地3選

教倫史東中国3共通選

科目名	民俗学研究	4単位	(ふりがな)	なが	さわ	とし	あき
(英文名)	Studies of Folklore		担当者	長 沢 利 明			
授業のねらいと概要:							
日本人の生活習俗・伝承文化を総合的にとらえて概説し、さまざまな具体的事例をひとつひとつ分析的に研究しながら、民俗学の方法論を学ぶ。そのための大きな柱として本年度は、①民俗調査と民俗誌(8項目制の個別解説とフィールドワークの方法論)、②東京の民間信仰(都市民俗学の視点からの事例分析)、③世田谷の民俗(区内の諸伝承の検討)の三つの課題を位置づけてみる。							
教科書と参考図書:							
長沢利明著『東京の民間信仰』(三弥井書店)							
評価法 : 前期試験(レポート)、後期試験(有り)							

【授業計画】

回数	授業内容とそれに必要な準備	回数	授業内容とそれに必要な準備
第1回	全体のプロローグとして、民俗学とは何か、どのような学問かということをわかりやすく解説する。	第16回	同じく、仏教信仰の民間信仰化の諸問題を分析する。法華系現世利益信仰の実態を究明する。
第2回	民俗調査における8大調査項目のうち、「社会構成」について概説する。	第17回	江戸・東京の民間信仰の実態とその特色を都市民俗学の観点から整理する。
第3回	同じく「人生儀礼」について概説する。	第18回	國立館大学世田谷校舎の地元である世田谷区の民俗の特色を順次紹介する。
第4回	同じく「衣食住」について概説する。	第19回	同じくその2回目。
第5回	同じく「年間行事」について概説する。	第20回	同じくその3回目。
第6回	同じく「民間信仰」について概説する。	第21回	同じくその4回目。
第7回	同じく「生業」について概説する。	第22回	同じくその5回目。
第8回	同じく「芸能」について概説する。	第23回	予備
第9回	同じく「口承文芸」について概説する。	第24回	予備
第10回	民俗調査の方法論について学ぶ。夏休みのフィールドワークに向けてのオリエンテーションもあわせておこなう。	第25回	予備
第11回	都市民俗学的アプローチから、東京の民間信仰を分析する。特に稲荷信仰・火防信仰について事例検討をおこなう。	最終回	後期試験
第12回	同じく、職神信仰を分析する。下町の職人社会の同業者信仰の実態を検討する。		
第13回	同じく、近世の流行神信仰を分析する。流行神の発生と講社の組織化の問題を検討する。		
第14回	同じく、近世～近代期の年頭習俗の盛衰を分析する。宝船や七福神信仰の実態もとらえてみる。		
第15回	同じく、商人社会の職神祭祀を分析する。市と祭の起源、発達史についても考察する。		